

会報

第10号 平成2年7月15日発行

コーチとしての抱負

35回卒 杉山 英士

まさか、このように早く夢が実現してしまうとは、思ってもみなかった。

旭丘を卒業して、愛知県で教師を志して以来いずれは母校で教師を、そしてバスケットボール部の指導を、というのが夢であった。

非常勤講師としてではあるが母校で教師としての職を得、バスケットボール部の指導を任されている今、これからどうしたらいいのか分からないというのが、率直な感想である。

旭丘に在籍していた当時、一年目に荒川先生に教わり、また先輩方にも恵まれ、バスケットボールに対する考え方、部活動に対する考え方を一変させられた。勝つために、今何をすべきなのかを自分たちで考え、自分たちに厳しく練習する。それまで受け身でしか物事を考えられず、自己に甘かった自分には、大変なショックであった。

荒川先生が転勤された二年目、チームを引き継ぎ、指導者が変わり、そして徐々に勝てなくなっていく自分たちに非常に苛立っていた。今、冷静に振り返ってみても、何故あれほど苛立っていたのか分からないほどである。それがチームをばらばらにしてしまった原因だと、今も当時のチームメイトに怒られている。反省しています。

三年目の最後の試合は、今も鮮明に覚えている。高校総体名北支部予選で千種高校に負け、県大会の出場をたたれた試合である。あの悔しさは一生忘れない。試合に負けたことが悔しく、それ以上に腑甲斐なかった自分が悔しかった。この悔しさが大した能力もない自分が、大学でバスケットボールを続けた最大の理由である。

大学に五年在学し、大学院に二年通い（現在三年目）、非常に人生を遠回りしている自分である。しかし、その間選手として四年、大学の付属高校のアシスタントコーチとして三年、そして現在と、一時もバスケットボールから離れられないのは、この高校時代の経験が非常に大きいと思う。

また、事あるたびに、名古屋に戻り、旭丘のバスケットボール部に顔を出していた自分は、今現在の選手たちに対して、歯がゆさが残るのも確かである。今の自分にとって一番の仕事は、勝つ喜び、負ける悔しさを選手に教えることだと思っている。それが、彼らのバスケットボール、さらに部活動に対する思い入れにつながり、選手のあいだに一体感が出てきてくれれば幸いである。

現在バスケットボール部は、総顧問の松下先生をはじめ、男子顧問の近藤先生、女子顧問の小沼先生、さらに講師の八代先生にも一方ならぬ御努力を頂き、男女共に非常に気持ち良く練習をさせて頂いている。また、部長がキャプテンシーを発揮し出し、選手間に勝ちたいという意識が芽生え始めてきた。能力的にも高く、身長的にも一年生に男子は187・182cm、女子は175・169cmの選手が入部し、他のチームと比べても遜色は無くなってきた。

このようなチームを、若輩者の自分が育てていかなければならないと思うと、大変不安である。OB・OGの皆様には、是非練習、指導にご協力を頂きたく、お願い申し上げる次第である。

平成2年度現役紹介

顧問 松下 一郎
近藤 仁司(男子)
小沼 敏幸(女子)
コーチ 杉山 英士/八代 典子

男子

総体、県立、四校リーグ、オール名北、優勝選抜、新人戦、三校リーグ
我々は、この七つの大会のうち「県立、四校リーグ、三校リーグ優勝」を
念頭に、顧問の近藤先生、コーチの杉山先生の指揮のもと、日々練習に励
んでいます。
部長

戦績

平成1年度

7月	県立大会	旭丘	37-67	守山	1月	三校リーグ	旭丘	55-80	瑞陵
8月	四校リーグ		45-51	向陽				42-59	熱田
			54-87	明和		新人戦			春日井に敗戦
			38-67	菊里					
8月	南北大会		53-57	鳴海	平成2年度				
10月	優勝選抜		107-28	愛商	4月	総体予選		47-72	守山
			34-61	名東					

女子

今年、私達は、新チームになり、コーチとして、八代先生とOBである
杉山先生を迎え、毎日練習に励んでいます。とにかく私達は強くなりたい
です。そしてみんなが、一丸となって目標に向かっていけるチームになたい
たいです。
部長

戦績

平成1年度

7月	県立大会	旭丘	41-53	瑞陵	1月	三校リーグ	旭丘	16-62	瑞陵
8月	四校リーグ		33-39	向陽				39-57	熱田
			30-56	明和		新人戦			春日井南に敗戦
			34-57	菊里					
8月	南北大会		17-51	名東	平成2年度				
10月	優勝選抜		10-63	春日井	4月	総体予選		35-83	東邦

☆-----☆-----☆-----☆-----☆

4月より、保健体育の非常勤講師として旭丘にお世話になっております。

先日、バスケットボールOBの役員会に出席させて戴き、現役生は、とても頼もし
い多くの先輩方に囲まれて幸せだと感じました。そして、諸先輩方が、お話になられ
た楽しいエピソードをまじえた実績と共に、どれほど現役生に熱い声援を送ってい
らっしゃるか伝えられたらいいなあと思途に着きました。

私は、小・中・高校・大学とスポーツを続けてきて、一生の友を得ることができた
ことが一番の財産であったと思います。苦しい練習・勝った喜び・全て友人抜きには
考えられません。現役生にもそういう素敵さを味わってもらえることが私の望みです。

微力ながら、マネージャー的にでもお手伝いできたらと思っておりますので、宜し
くお願い致します。
コーチ(体育非常勤講師)八代 典子

第41回四校リーグのお知らせ (会場: 菊里高校)

8月4日(土)

8月5日(日)

9:00～開会式

時間	区分	Aコート 審判		Bコート 審判	
		対戦名	オフィシャル	対戦名	オフィシャル
9:30	現役女子	旭丘×向陽	明和	菊里×明和	向陽
10:50	現役男子	旭丘×向陽	明和	菊里×明和	向陽
12:10	現役女子	向陽×菊里	旭丘	明和×旭丘	菊里
13:30	現役男子	向陽×菊里	旭丘	明和×旭丘	菊里

9:00	現役女子	明和×向陽	旭丘	旭丘×菊里	明和
10:20	現役男子	明和×向陽	菊里	旭丘×菊里	向陽
11:40	OB	明和×旭丘	菊里	菊里×向陽	旭丘
13:00	OG	向陽×旭丘	明和	菊里×明和	向陽
13:50	超OB	明和×向陽	旭丘	旭丘×菊里	菊里
14:40	OBOG	OB勝者戦	向陽	OG勝者戦	明和

16:00～閉会式

1. OB、OGチームは3年生が参加してもよい。超OBチームは、原則として40才以上とする。
2. OG戦、超OB戦はランニングタイムで行なう。(15分—5分—15分)
3. 貴重品は各校で十分気をつけて、保管してください。
4. 体育館の外で練習するときは、下履きに必ずはきかえること。
体育館内での飲食は禁止である。

本年度の会場は、明和高校の予定でしたが、体育館改築工事のため菊里高校になりました。従って来年度は明和高校で行なう予定です。

会場の順番 3年度：明和 4年度：向陽 5年度：旭丘

四校リーグ以外のこの夏の予定をお知らせします。

合宿 男子 7月23日～27日

旭丘にて

女子 8月5日～8日

野沢にて

市内県立

7月30日中川商業にて

男子 VS 南陽 13:30～

女子 VS 中村 10:30～

7月31日惟信高校にて

オール名北

8月11・12・13日

新年会の席で現役強化のためには指導陣の充実が一番大切であり、そこが一番の悩みでもあると話していたら、なんと杉山・八代両先生の登場でイッキに解決しました。総顧問の松下先生以下のこの充実した指導陣にOB諸兄おおいに期待有れ。

さて今年度中に名簿の改訂をしたいと思います。同封の返信葉書を必ず出して下さい。すでに29回の近藤・服部両OBが作業にかかっております。ご協力お願いします。

連絡先 ☎0586-77-6004 近藤耕司(29)

編集責任者

服部 保孝(25) 丹下 雅博(27)

近藤 耕司(29) 服部 敦(29)